

## 文化経済若手フォーラム in 東北 公立文化施設のあり方を考える

参加費  
無料

■日時:2019 年 12 月 15 日(日)15:30~17:30

■場所:エルパーク仙台

〒980-8555 仙台市青葉区一番町 4-11-1

141 ビル (仙台三越定禅寺通り館)

仙台市営地下鉄南北線:「勾当台公園駅」下車 (南 1 番出口より地下道で連結)

バス:「商工会議所前」または「定禅寺通市役所前」下車

文化経済学会<日本>は 1992 年に設立された学会で、国際文化経済学会の日本支部ともなっています。研究者のみならず、文化および芸術に関する社会・経済的問題の研究に関心を持つ実務家の方々も多数会員となり、活発に交流を行っています。毎年、6~7 月に研究大会を開催していますが、復興五輪が行われる 2020 年度は仙台市 (6 月 27 日 (土)・28 日 (日)、日立システムズホール仙台) で開催されます。東北地方での開催は 2002 年に秋田県のたざわこ芸術村で開催されて以来 18 年ぶり、仙台では初めての大会となります。

大会開催を契機として、東北地方における文化経済の研究や実践を活発化し、震災復興をはじめ、地域経済社会の発展を促すため、東北地方の若手研究者、実務家、学生のネットワークをつくっていきたいと考え、当フォーラムを開催することになりました。どなたでもご参加いただけます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### <プログラム>

15:30-16:20 講演 「文化政策の動向と公立文化施設に求められる役割」

劇場法定制、基本法改正等、近年の文化政策の動向を踏まえ、これからの劇場・音楽堂、美術館・博物館等の公立文化施設に求められる役割について展望する。

片山泰輔 文化経済学会<日本>理事長、静岡文化芸術大学文化政策学部教授

文化庁「劇場・音楽堂等の制度的な在り方に関する検討会」委員、文化審議会文化政策部会

部会長代理、「宮城県民会館の整備の在り方に関する有識者会議」委員、いわき芸術文化交流館

アドバイザー等を歴任。

16:30-17:30 ディスカッション 「東北地方における文化施設の方向性」

仙台市、宮城県が新ホール建設の構想を進める中、従来の施設も含め、東北地方における文化施設が、今後どのような役割を果たしていくべきかをパネリスト、参加者とともに議論します。

コーディネーター 坂口大洋 仙台高等専門学校教授

パネリスト 片山泰輔 静岡文化芸術大学教授

八巻寿文 せんだい 3.11 メモリアル交流館前館長

(元せんだい演劇工房 10-BOX 工房長) ほか

終了後、近隣飲食店で交流会開催を予定。

### ■参加申込方法

①氏名、②ご所属・職名・学年等、③連絡先、を明記のうえ、件名を「イベント参加申込」として学会事務局まで電子メールにてお申込みください。

E-MAIL : [g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp)

■主催：文化経済学会<日本>